



2020年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社 ピエトロ

上場取引所 東

コード番号 2818 URL <https://www.pietro.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 泰行

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 経理・IR部長 (氏名) 森山 勇二

TEL 092-724-4925

四半期報告書提出予定日 2020年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第3四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第3四半期	7,247	2.9	353	26.6	350	27.0	164	42.6
2019年3月期第3四半期	7,465	3.0	481	21.9	479	23.3	287	42.8

(注) 包括利益 2020年3月期第3四半期 157百万円 (45.8%) 2019年3月期第3四半期 291百万円 (43.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第3四半期	27.10	
2019年3月期第3四半期	47.28	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第3四半期	8,990	5,383	59.9	882.72
2019年3月期	8,837	5,320	60.2	875.76

(参考) 自己資本 2020年3月期第3四半期 5,383百万円 2019年3月期 5,320百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		0.00		21.00	21.00
2020年3月期		0.00			
2020年3月期(予想)				21.00	21.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,368	3.3	400	25.8	394	25.8	191	33.8	31.36

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期3Q	6,257,230 株	2019年3月期	6,257,230 株
期末自己株式数	2020年3月期3Q	158,668 株	2019年3月期	182,369 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期3Q	6,086,712 株	2019年3月期3Q	6,074,862 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資は底堅く推移していますが、海外情勢の不安定化等の影響もあり、国内景気の先行きは依然として不透明な状況が引き続き続いております。

食品業界及び外食業界におきましても、10月の消費税率引き上げなどによる、消費者の根強い低価格志向等の生活防衛意識が依然として継続しており、また、企業間競争も激化し、お客様の品質や安全・安心を求める選別消費の傾向が強まっております。

このような状況のもと、当社グループは、「おいしさと健康」を追求した高付加価値商品のご提供をとおして、ブランド価値の向上に努めてまいりました。

当第3四半期会計期間（2019年10月1日～2019年12月31日）につきましては、連結売上高及び連結利益ともに前年同期を上回り、売上高24億61百万円（前年同期比3.0%増）、営業利益1億39百万円（前年同期比96.7%増）、経常利益1億38百万円（前年同期比96.4%増）となりました。

しかしながら第2四半期までの実績値が厳しく、当第3四半期連結累計期間の売上高につきましては、72億47百万円（前年同期比2.9%減）となりました。

利益面では、売上高減少により売上総利益は前年同期比2.8%減少し、営業利益は3億53百万円（前年同期比26.6%減）、経常利益は3億50百万円（前年同期比27.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は減損損失の計上により1億64百万円（前年同期比42.6%減）となりました。

セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

①食品事業

今期の経営方針である「パスタカテゴリーの売上拡大」、「ドレッシング280mlシリーズの選択と集中」のもと、より一層の試食販売の強化や定番商品売場の拡大に努め、積極的な売上拡大を図ってまいりました。

パスタカテゴリーの売上拡大に関しましては、主力の「おうちパスタ」シリーズが前年同期を大きく上回る実績で推移しました。また、レトルトパスタソースでは「絶望スパゲティ」がテレビ番組で採り上げられたこともあり販売好調で、カテゴリー全体の底上げに貢献いたしました。

ドレッシングカテゴリーの売上は販促企画の提案などを積極的に行いまいりましたが、8月に当社が発売以来始めて実施した価格改定の影響を受け、8月、9月は当初の売上見込を大きく下回りました。第3四半期になり10月以降は回復基調で推移していますが、ドレッシング業界全体の縮小傾向もみられ、主力商品の「280mlシリーズ」が当第3四半期連結累計期間におきましては、前年同期と比べ減少いたしました。

好調なパスタカテゴリー販売を更に強化し、ドレッシングカテゴリーにつきましては、「万能調味料」として、使い方、食べ方提案など商品価値を伝える営業を通して売上拡大を図ってまいります。

営業利益は、売上高の減少による利益減と新規カテゴリー育成費用増の影響もあり、減益となりました。

以上の結果、売上高は52億22百万円（前年同期比2.8%減）、セグメント利益は13億63百万円（前年同期比10.0%減）となりました。

②レストラン事業

今期の経営方針である「既存店の更なる活性化&新業態へのチャレンジ」のもと売上拡大と利益改善を図ってまいりました。グランドメニュー改定や、積極的なフェアメニュー展開も行いご好評いただいております。また、既存店でのディナー時間帯強化やランチでの高価格帯メニューの充実、サービス研修の強化などにより、客数、客単価共に前年同期を上回りました。レストラン事業は、店舗の閉店による売上高の減少、人件費の上昇、業務用商品の売上高の減少要因などがありましたが、不採算店舗の閉店を行ったことによる利益の改善やメニュー改定による手応えもあり、今後もさらなるお客様満足度の向上と、利益獲得に取り組んでまいります。

以上の結果、売上高は18億99百万円（前年同期比3.6%減）、セグメント利益は18百万円（前年同期比24.8%減）となりました。

③その他（本社ビル等の賃貸）事業

その他（本社ビル等の賃貸）事業におきましては、売上高は1億26百万円（前年同期比2.5%増）、セグメント利益は64百万円（前年同期比3.2%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1億52百万円増加し、89億90百万円となりました。これは主に現金及び預金が2億2百万円、有形固定資産が30百万円減少する一方、売掛金が1億38百万円、無形固定資産が1億33百万円、商品及び製品が34百万円、敷金及び保証金が25百万円、保険積立金が24百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

負債合計は前連結会計年度末に比べ89百万円増加し、36億7百万円となりました。これは未払金が69百万円、固定負債のその他が3億10百万円増加する一方、賞与引当金が20百万円、長期借入金(1年内含む)が93百万円、未払法人税等が1億3百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。

純資産合計は前連結会計年度末に比べ63百万円増加し、53億83百万円となりました。これは前期決算の剰余金の配当1億27百万円、譲渡制限付株式報酬制度導入に伴う自己株式の処分37百万円及び親会社株主に帰属する四半期純利益1億64百万円の計上によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年3月期の連結業績予想につきましては、2019年10月23日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期連結業績予想に変更はありません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,659,020	1,456,233
預け金	68,706	63,785
売掛金	1,409,221	1,547,935
商品及び製品	83,703	118,512
仕掛品	4,762	2,829
原材料及び貯蔵品	123,204	131,988
その他	118,672	137,903
貸倒引当金	△400	△165
流動資産合計	3,466,891	3,459,021
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,040,239	1,961,607
土地	2,018,342	2,018,342
その他(純額)	638,800	686,700
有形固定資産合計	4,697,382	4,666,649
無形固定資産	43,084	176,516
投資その他の資産		
敷金及び保証金	374,390	399,972
保険積立金	66,773	91,375
その他	209,035	216,865
貸倒引当金	△19,945	△19,790
投資その他の資産合計	630,253	688,423
固定資産合計	5,370,720	5,531,588
資産合計	8,837,612	8,990,610

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	479,377	493,469
短期借入金	1,350,000	1,350,000
1年内返済予定の長期借入金	133,260	114,890
未払金	496,302	565,804
未払法人税等	163,994	60,931
賞与引当金	47,703	27,573
その他	248,213	288,450
流動負債合計	2,918,852	2,901,118
固定負債		
長期借入金	154,372	79,043
役員退職慰労引当金	159,837	—
退職給付に係る負債	76,617	102,350
資産除去債務	71,361	77,488
その他	136,413	447,292
固定負債合計	598,601	706,174
負債合計	3,517,453	3,607,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,042,389	1,042,389
資本剰余金	1,074,635	1,069,376
利益剰余金	3,474,822	3,510,830
自己株式	△302,895	△263,527
株主資本合計	5,288,953	5,359,069
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35,427	28,238
為替換算調整勘定	△4,255	△4,011
その他の包括利益累計額合計	31,172	24,226
非支配株主持分	32	21
純資産合計	5,320,158	5,383,317
負債純資産合計	8,837,612	8,990,610

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
売上高	7,465,073	7,247,707
売上原価	2,996,531	2,903,228
売上総利益	4,468,542	4,344,478
販売費及び一般管理費	3,986,929	3,990,891
営業利益	481,612	353,587
営業外収益		
受取利息	247	29
受取配当金	1,738	1,757
為替差益	292	67
貸倒引当金戻入額	629	361
その他	2,847	1,804
営業外収益合計	5,755	4,021
営業外費用		
支払利息	6,054	5,431
その他	1,921	2,012
営業外費用合計	7,975	7,443
経常利益	479,391	350,164
特別利益		
固定資産売却益	5,062	7,079
投資有価証券売却益	3,504	—
会員権売却益	129	—
特別利益合計	8,697	7,079
特別損失		
固定資産除却損	6,839	7,888
減損損失	27,052	61,288
投資有価証券売却損	3,865	—
特別損失合計	37,757	69,177
税金等調整前四半期純利益	450,331	288,067
法人税、住民税及び事業税	106,207	131,639
法人税等調整額	56,912	△8,514
法人税等合計	163,119	123,124
四半期純利益	287,211	164,942
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△11
親会社株主に帰属する四半期純利益	287,211	164,954

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)
四半期純利益	287,211	164,942
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,634	△7,189
為替換算調整勘定	△233	243
その他の包括利益合計	4,401	△6,945
四半期包括利益	291,613	157,997
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,613	158,008
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△11

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,372,295	1,969,409	123,368	7,465,073	—	7,465,073
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	389	389	△389	—
計	5,372,295	1,969,409	123,757	7,465,462	△389	7,465,073
セグメント利益	1,514,865	24,859	66,788	1,606,512	△1,124,900	481,612

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,124,900千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては27,052千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	食品事業	レストラン 事業	その他 (本社ビル等の 賃貸)事業	計		
売上高						
(1)外部顧客への売上高	5,222,187	1,899,099	126,420	7,247,707	—	7,247,707
(2)セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	5,222,187	1,899,099	126,420	7,247,707	—	7,247,707
セグメント利益	1,363,494	18,700	64,644	1,446,839	△1,093,252	353,587

(注) 1 セグメント利益の調整額に含めた各セグメントに配賦できない金額は1,093,252千円であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「レストラン事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては61,288千円であります。